

平成29年3月29日  
株式会社 中国銀行

笠岡干拓地でのスマート園芸事業に対する融資取組みについて  
ーエネルギー技術を組合せた世界最先端の施設園芸事業に対する取組みを支援ー

当行では、株式会社サラ（本社：岡山県笠岡市）がおこなうバイオマス発電を利用した最先端の施設園芸事業に対して、当行が主幹事となりシンジケートローン契約の組成をおこないましたので、お知らせいたします。

当行は「アグリビジネス」「環境エネルギー」分野を「成長業種」とし、特に重要分野に位置付けております。本件は、笠岡湾干拓地にてオランダ製の半閉鎖型ガラス室栽培施設とバイオマス発電を組合せた世界最先端の施設園芸事業です。当行は、オランダ型の高収量栽培を笠岡で目指すうえで必要となる施設のエネルギーを木質バイオマスで供給するという環境にも配慮した最先端の取組みと雇用など地域への貢献度も高い点を評価し、日本政策金融公庫岡山支店（岡山市北区柳町一丁目1番27号 支店長 菊池 新吾）と連携し協調融資をおこないます。

当行は、今後も地方創生に繋がる支援を積極的に取組んでまいります。

### 1. シンジケートローンの概要

ローン概要	契約日	: 平成29年3月27日
	組成金額	: 5,900百万円
	アレンジャー	: 中国銀行（兼、エージェント）
	参加銀行	: 笠岡信用組合、西日本シティ銀行、山陰合同銀行、 玉島信用金庫、トマト銀行
	資金使途	: 設備資金

### 2. 株式会社サラの概要と事業の概要

会社概要	所在地 : 岡山県笠岡市平成町95-1 代表者 : 小林 健伸 最高執行責任者 : 佐野 泰三
事業概要	事業内容 : トマト、パプリカ、レタス生産およびバイオマス発電事業 事業地 : 岡山県笠岡市平成町 生産量 : 6,300 t (トマト3,900 t、パプリカ1,100 t、レタス1,300 t) 栽培面積 : 111,600 m <sup>2</sup> (トマト56,800 m <sup>2</sup> 、パプリカ32,500 m <sup>2</sup> 、レタス22,300 m <sup>2</sup> ) 発電出力 : 10,000 kW (バイオマス発電) 総事業費 : 13,950 百万円 事業開始 : 平成31年4月予定

以上